

知事メッセージ

●台風第6号への警戒について

台風第6号については、今後も発達しながら、沖縄本島や先島地方に接近する見込みです。

沖縄気象台による直近の情報では、台風第6号は、沖縄の南の海上を西へ発達しながら時速15kmで進んでおり、沖縄本島地方では21日未明から、宮古島地方では21日昼過ぎ、八重山地方では21日夜のはじめ頃から暴風となる見込みで、沖縄県全域に影響を長時間及ぼすおそれがあります。特に宮古島地方への最接近が予想される7月22日には、中心気圧が955h p、中心付近の最大風速は40m、最大瞬間風速は55mとなることが予想されております。

また、本州付近の高気圧との関係で台風北側で気圧の傾きが大きいため、暴風域の外であっても暴風が吹くおそれがあり、注意が必要です。

波浪については、大東島地方では21日まで、本島地方では23日まで、先島諸島では21日から24日まで大しけとなり、高波に厳重な警戒が必要です。

大雨については、沖縄本島地方では22日にかけて、宮古島地方では21日から23日にかけて、八重山地方では21日から24日にかけて大雨に警戒が必要です。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒・注意をお願いします。今後、沖縄気象台が発表する気象情報及び各自治体が発表する避難情報等に十分注意して下さい。

沖縄県では、本日午前6時37分、大東島地方に暴風警報が発表されたことを受け、同時刻付けで災害警戒本部を設置し、情報収集及び警戒にあたっているところであります。このあと、災害対策本部を設置して台風災害に備えてまいります。

台風の中心が近づくと予想されている先島地方の皆様をはじめ、県民の皆様、沖縄に来られている皆様には、次の点に気を付けてくださいますようお願いいたします。

1. 暴風への警戒が重要となります。改めてのご注意ですが、風に飛ばされやすいものは、建物の中などへ移動させたり、固定するなどの事前準備をお願いします。
2. 断水や停電の発生に備え、水や食料の確保、懐中電灯・ラジオの準備や電池の確認、携帯電話の充電等事前対策に努めてください。
3. 災害時においては、「危険な場所にいる人は、避難すること」が原則です。市町村が作成している「ハザードマップ」をご確認いただき、浸水・土砂災害等の被害のおそれがある地域にお住まいの方は、危険が差し迫る前に早めの避難をお願いします。
4. また、現在、コロナ禍にありますので、市町村が開設する避難所だけでなく安全な親戚・知人宅に避難することもご検討ください。
5. そして、避難する際は、マスク・手指消毒液など感染予防を目的とする用品を、できるだけ自ら携行してください。また、発熱等症状のある方は、避難所の受付で申告して頂きますようお願いいたします。
6. 早め早めの台風対策を行うとともに、台風が接近している間は、不要不急な外出は控え、港や海岸等、危険な場所には近づかないでください。また、ドアや窓の開閉に注意するとともに、屋内においても窓から離れるなど、身の安全に注意してください。
7. 避難所への避難が危険な場合は、浸水に対しては2階などへの垂直避難、土砂災害に対しては建物の中でも崖側から離れる、また暴風に対しては窓から離れることなど、「命を守る行動」を最優先に行動してください。

皆様には、暴風や大雨等へ十分警戒されるよう、よろしく願いいたします。

令和3年7月20日
沖縄県知事 玉城 デニー